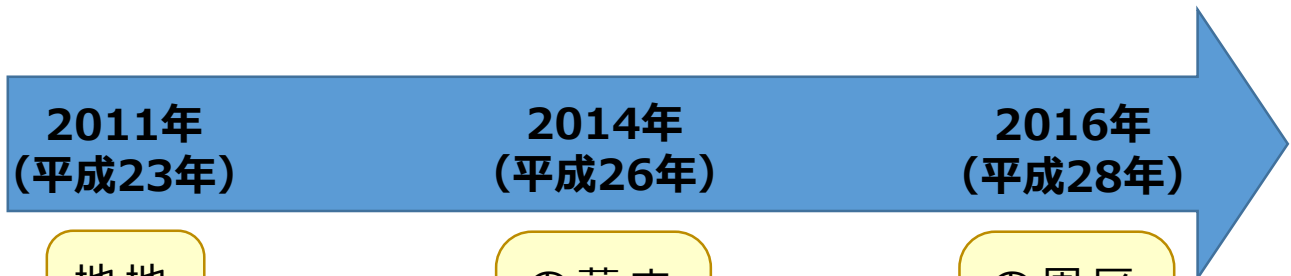


下井草駅周辺地区まちづくり オープンハウス

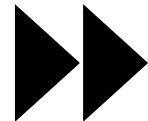
東京都は、平成20年に西武新宿線「野方駅～井荻駅付近」「井荻駅～東伏見駅付近」を鉄道立体化の事業候補区間として位置付けました。

下井草駅周辺地区においては、平成23年に地域の皆さまが主体の「まちづくり協議会」が設立されました。区では、協議会から提案された「まちづくり構想」等を踏まえ、平成28年に「まちづくり方針」を策定しました。今回のオープンハウスでは、下井草駅周辺地区のまちの現状と課題・今後のまちづくりについてパネルを展示し、地域の皆様のご意見を伺います。

【これまでの取組み】



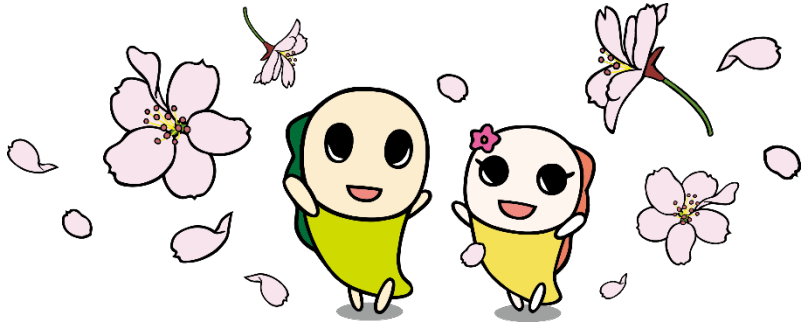
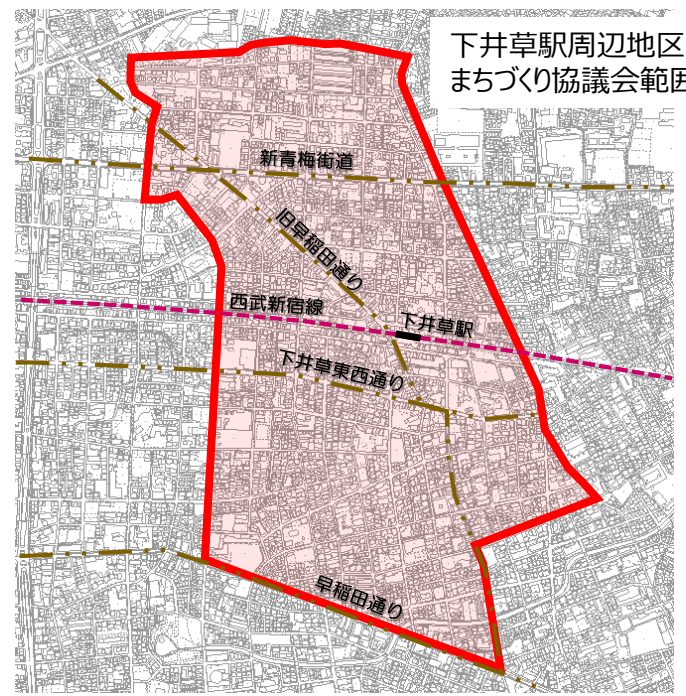
地域住民による「下井草駅周辺地区まちづくり協議会」の設立



まちづくり協議会による「下井草駅周辺地区まちづくり構想」の提案



区による「西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針」の策定



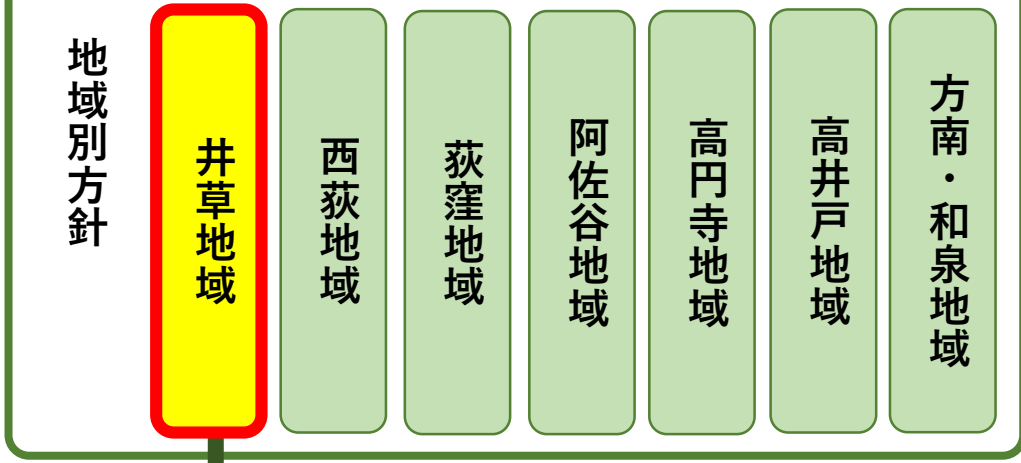
沿線地域のまちづくり目標
人と人をつなぐ、みどり豊かな
便利で快適なまち

上位計画による位置づけ

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想 (10年ビジョン)
○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画
交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)



西武新宿線沿線各駅周辺地区
まちづくり方針

【まちづくり方針（概要）】

まちづくりの目標を実現するため、地域住民や関係機関と連携・協働して「人と人をつなぐ、みどり豊かな便利で快適なまち」の実現を目指します。

分野別方針の基本的な考え方

交通体系分野 (道路・交通)

- 交通結節点機能の強化
- 交通ネットワークの形成

土地・建物利用分野 (商業・にぎわい)

- 駅周辺のにぎわい拠点形成
- 適正な土地利用の誘導

住環境分野 (住環境・みどり)

- みどりの保全・育成
- 防災・防犯まちづくり

下井草駅周辺地区のまちの将来像

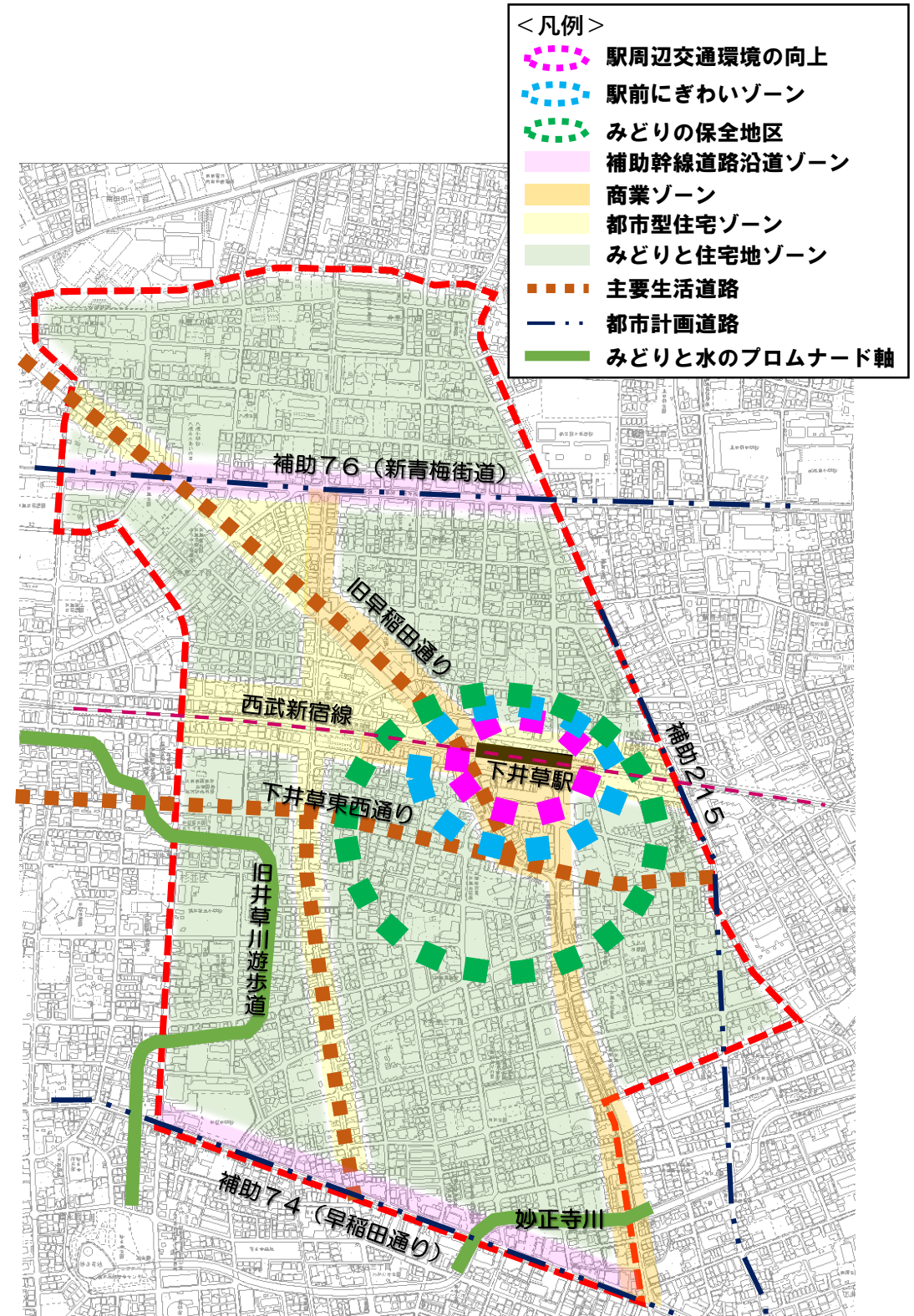
にぎわいと良好な住環境が調和した、安心して住み続けられるまち

◆ 駅周辺に魅力的なにぎわいのあるまちづくり

- ▶ まちの顔となる駅周辺の環境整備、商店街の景観整備を通じて、にぎわいのある拠点形成を図る。
- ▶ イベントやマルシェなどの開催等商店街の魅力を高め、地域主導の商店街活性化の取組みを進める
- ▶ 駅周辺の商店街では、買い物客の一時的な自転車置き場や休憩スペースとして利用できるよう、建築物の配置を工夫する。

◆ このまちらしさを活かした、安心して魅力的なまちづくり

- ▶ 駅前にあるサクラ（シンボルツリー）の保全や遊歩道・公園、屋敷林・農地などのみどり豊かな環境を維持し、魅力的な景観形成を図る。
- ▶ 防災・防犯活動や地域の行事などを通して、人と人がつながる地域コミュニティづくりを進める。



【下井草駅周辺の現状・課題（道路・交通）】

駅周辺の道路・交通の現況、計画



・バス路線③
中野駅 ⇄ 八成小学校

・バス路線②
阿佐ヶ谷駅 ⇄ 石神井公園駅

自転車ネットワーク路線
(杉並区自転車ネットワーク計画)

旧井草川遊歩道

・バス路線①
荻窪駅 ⇄ 下井草駅
阿佐ヶ谷駅

補助215号線
(都市計画決定)

【下井草駅周辺の現状・課題（道路・交通）】

歩行者・自転車の安全性確保

- バス通りとしては車道・歩道とも幅員が狭く、歩行者・自転車の安全性が低い。
- 歩道が狭いため、停留所に乗降客があふれ、歩行者の通行に支障がある。



下井草第3号踏切

下井草第2号踏切

下井草第1号踏切

鷺宮第6号踏切

下井草駅

西武新宿線

踏切の解消

- 踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故の危険がある。
- 鉄道・踏切によってまちが南北に分断されている。

踏切前の交通渋滞



下井草1号踏切



【下井草駅周辺の現状・課題（道路・交通）】

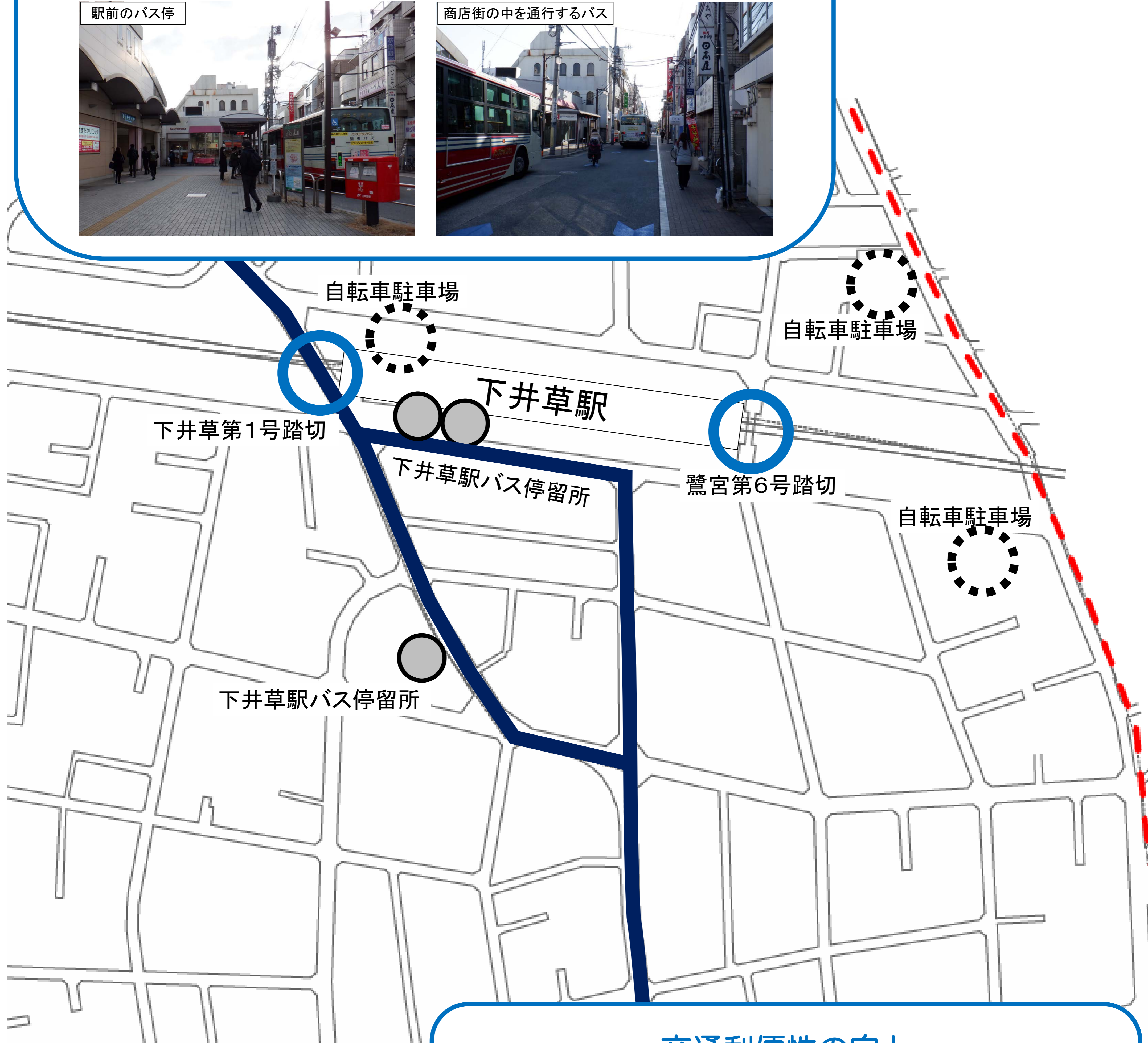
駅前や商店街の歩行者・自転車の安全性確保

- バス通りの車道が狭く、十分な滞留スペースが確保されていないため、バス乗降時に交通渋滞を誘発している。
- バスが商店街の中を通行しており、歩行者・自転車の動線と重なっているため、安全性が低い。

駅前のバス停



商店街の中を通行するバス



交通利便性の向上

- バス停が駅から離れており、乗換え利便性が低い。
- 駅周辺にタクシー・一般車の乗降場がない。
- 自転車駐車場が分散設置されており、利便性が低い。

【下井草駅周辺の現状・課題（商業・にぎわい）】

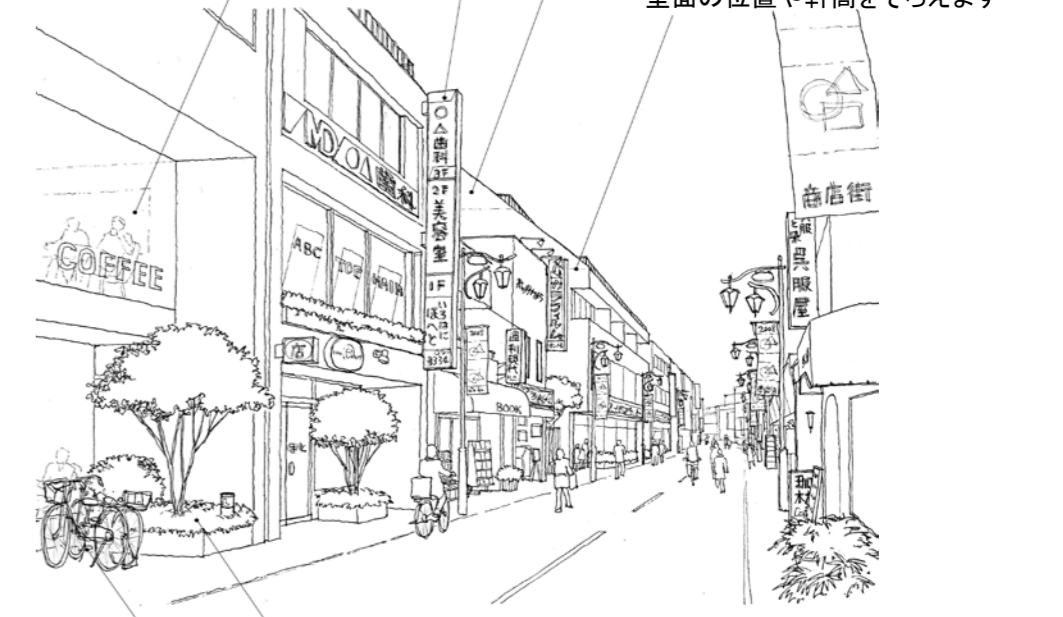
商店街の景観整備

- 駅前や商店街を中心とした環境・景観の整備。
- 周辺の住宅地と調和した景観の形成。



景観づくりのイメージ(駅周辺の商業地)

看板や広告物の集約に努め、落ち着いたデザインを基調とします
1、2階部分への商業施設の
入居誘導に努めます



周辺の建物と調和した色彩やデザインを工夫します
壁面の位置や軒高をそろえます
配置の工夫により、小空間を確保し、みどりを取り入れることに努めます
十分な駐輪・駐車スペースの確保に努めます

※出典: 杉並区景観計画

井草北商店会

下井草駅

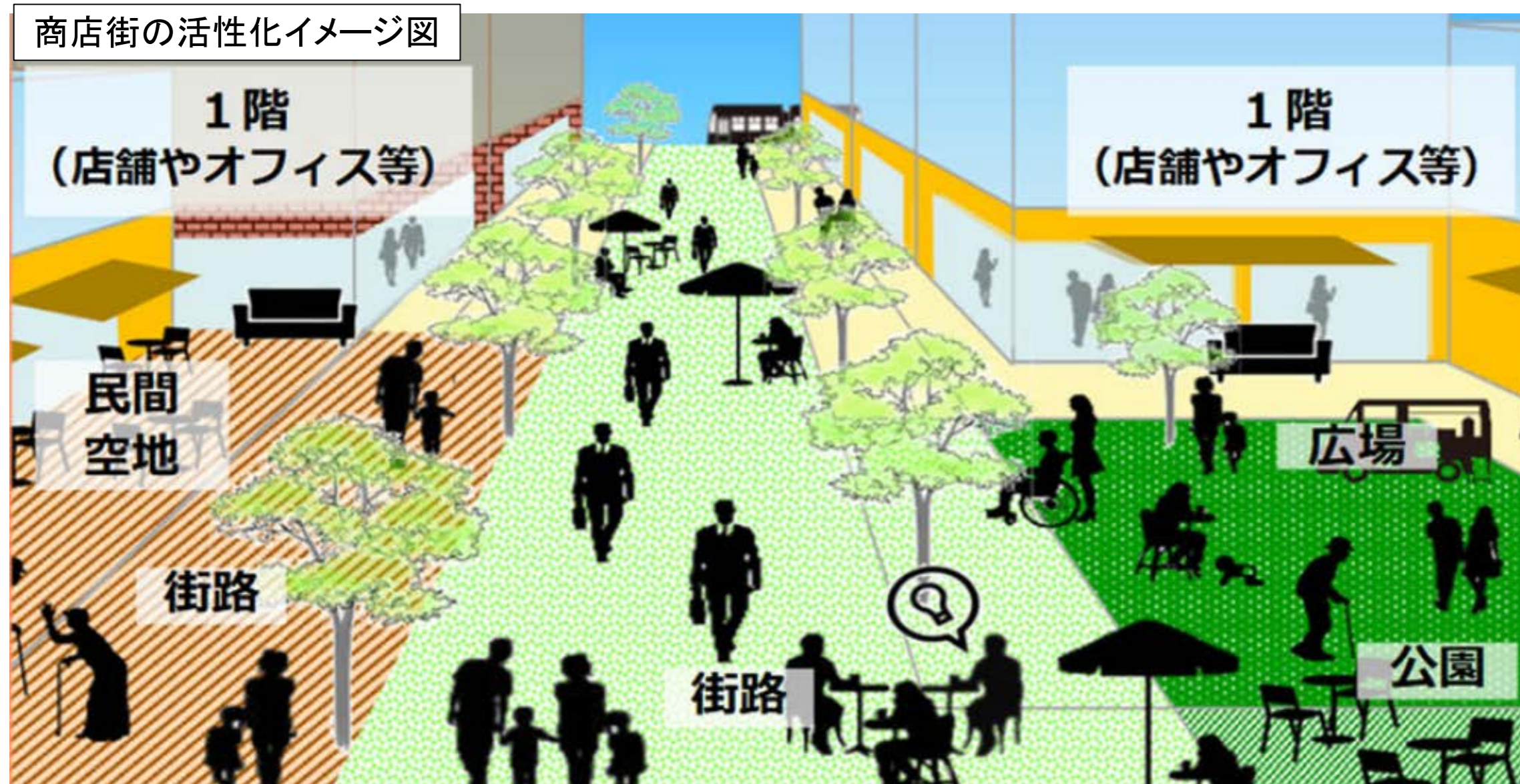
下井草商店街(振)

商店街の活性化

～「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくり～

- 商店街に人が集まれる憩いの場が少ない。
- 商店街にバス・車が通行しているため、歩行者・自転車の安全性が低い。

商店街の活性化イメージ図



※出典: 国土交通省「官民連携まちづくりの進め方」

【下井草駅周辺の現状・課題（住環境・みどり）】

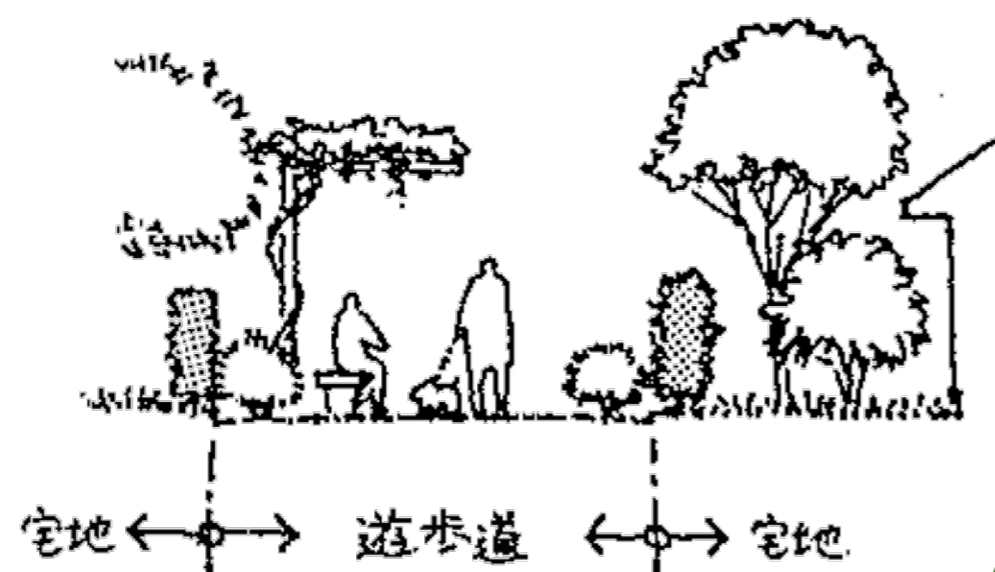
旧井草川遊歩道等の回遊性向上

- 旧井草川遊歩道の回遊性や周辺の公園等を活かした西武新宿線沿線のみどりと水のネットワークの形成。

旧井草川遊歩道



遊歩道とつながる住宅のみどり



※出典：杉並区景観計画

住宅地のみどりの保全

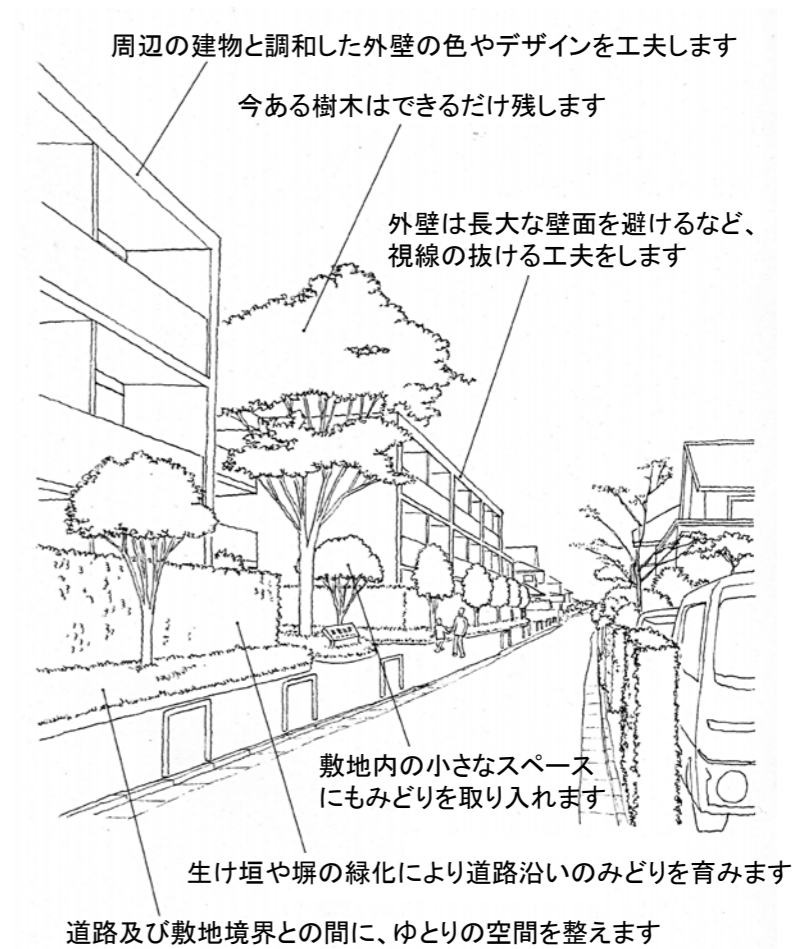
- 比較的敷地にゆとりのある住宅が多い。
- 敷地の細分化や農地等の宅地化。
- 公園や農地、屋敷林などみどり豊かな環境の維持。

敷地内の接道部緑化



※写真：下井草駅周辺地区 まちづくり構想

景観づくりのイメージ(低密度住宅地)



※出典：杉並区景観計画

みどりの保全地区

下井草駅

みどりの保全地区

旧井草川遊歩道

みどりのプロムナード軸

妙正寺川

【今後の流れ】

2022年3月
(令和4年)

オープンハウス開催

2022年4月
(令和4年度)
以降

下井草駅周辺の道路・交通に関する計画の検討

地元への周知等
(まちづくり協議会との意見交換)

オープンハウス等開催

(仮称)下井草駅周辺道路・交通施設整備計画(案)

地元への周知等
(まちづくり協議会との意見交換)

オープンハウス等開催 (意見募集)

(仮称)下井草駅周辺道路・交通施設整備計画策定

交通体系分野の検討

道路・交通施設整備計画とは？

「西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針（以下「まちづくり方針」という。）」で掲げた「交通体系分野」の方針に基づき策定するものです。

区ではまず、まちづくりの骨格となる基盤整備の検討を進めることとしておりますが、土地・建物利用分野及び住環境分野についても基盤整備の取組状況を踏まえ、地域の皆様のご意見を伺いながら順次検討を進めていきます。

